

異文化

コミュニケーション
カンファレンス
クロストーク



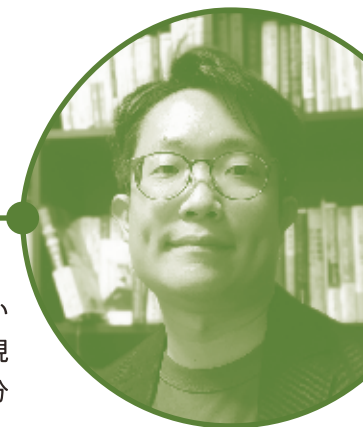
「自分らしくこの地域で暮らしていく」
～まちに開く
ケアとアートの交わり～

奥知久

(おく・ともひさ)さん
（おく内科・在宅クリニック院長）



モデレーター：当院 大矢 亮 (医師)
副病院長・救急総合診療科部長



常盤成紀

(とさわ・まさのり)さん
（公益財団法人堺市文化振興財団 事業係長）

みみはらグループはこれまでも無差別・平等を掲げ、地域の「よりどころ」「いのちのとりで」として歴史を重ねてきました。『みみはら2030年の樹』を実現するべく、これからも地域の方々の生活と健康を支えながら、だれもが「自分らしい人生」を送れるようにしたい。そんな具体的な地域包括ケア事業として、鳳クリニックの建て替えと堺区大仙西に「コミュニティ棟」を**2025年4月**にオープンします。

大阪市旭区で内科・在宅クリニックの院長として地域づくりもすすめる医師の奥さん、（公財）堺市文化振興財団として地域に芸術文化を広げながら、ご自身でもオーケストラを主宰される常盤さん。お二人のお話を聞きながら、堺でさらにケアとアートを交差させるにはどうしたらいいのか？を皆さんで考えていきたいと思います。

2025.

3.4



18:00.....20:00

会場

耳原総合病院2階
みみはらホール

●主催／社会医療法人同仁会 耳原総合病院
●お問合せ／虎頭(こう) tel 070-5581-1311

無料・お申し込み不要

INTRODUCTION

異文化コミュニケーション カンファレンス とは？

2015年新病院の建て替え以前の2012年から『異文化コミュニケーションカンファレンス』を前病院長の発案で始め、コロナ禍が始まる2021年まで50回継続。

医療者にも医療だけではなく広い視座を持ってほしい、というコンセプトでさまざまな分野の方を招聘し、人間性の醸成やナラティブな医療に繋げることをねらい開催してきました。再開第一弾として、2023年12月5日に近畿大学教員のアサダワタルさんをお呼びし、地域における「住み開き」についてお話をいただきました。



『モンベル』創始者：辰野勇さん

旭山動物園：坂東元園長



参加者と対話を重ねながらトークを展開するアサダワタルさん

PRESENTER

異文化コミュニケーションカンファレンス クロストーク Vol.2 登壇者



おく ともひさ
奥 知久さん

おく内科・在宅クリニック 院長

2008年大阪市立大学医学部卒業。2010年～2018年諏訪中央病院にて鎌田實氏に師事。総合診療専門研修のプログラム責任者や在宅診療部門の診療責任者を歴任。2019年よりフリーランス医師として合同会社トモラボを設立。複数の自治体で健康づくりや人材育成活動に従事している。家庭医療専門医・指導医、在宅専門医。2020年奥内科・循環器科院長 2023年おく内科・在宅クリニック院長（大阪市旭区）。KISA2隊 大阪事務局長。



ときわ まさのり
常盤 成紀さん

公益財団法人堺市文化振興財団 事業係長

1990年堺市生まれ。株式会社紀陽銀行、京都市役所/地域おこし協力隊等を経て2021年から現職。小中学校・こども園・こども食堂・福祉施設等の現場で、アートコーディネーターとして地域と芸術をつなぐ事業や、担い手を育成する事業の企画運営をしている。2015年からアミーキティア管弦楽団主宰。地域や人びとの歴史・生活・記憶・文化と音楽表現を結びつけながら、社会の中でのオーケストラのあり方を問い続けてきた。大阪大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学（西洋政治思想史）。大阪公立大学都市科学・防災研究センター客員研究員。

2024年12月3日に行われましたvol.1の「note」公開しました!こちらからご覧ください。

